

1 社会・治安情勢

- (1) 国家の統治及び社会秩序を著しく不安定にするような戦闘，暴動等の発生は確認されていないが，殺人，麻薬の密輸，人身売買事案など重大凶悪事件の発生や検挙が日々報道されている。また，邦人の旅行者や在留者からスリや置き引き，空き巣などの犯罪被害も当館に報告されており，治安状況については一定の注意を要する。
- (2) 2014年5月南シナ海情勢をめぐり，ハノイ市内を含むベトナム全土において大規模な中国に対する抗議行動が行われた。また，本年1月，2月，3月には，越中間の紛争記念日に合わせて，小規模ながらハノイ市やホーチミン市でデモが敢行されており，今後も対中国情勢が越国内世論にいかなる影響を与えるかについて，注視していく必要がある。
- (3) 当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) ハノイ市統計局ホームページに掲載されている記事から本年第1四半期のハノイ市における犯罪発生状況及び検挙状況等を抜粋したもの。（平成28年1月～3月実績）

【刑法犯関係】

- ア 刑法犯発生件数：975件（前年同期比－35.9%）
- イ 刑法犯検挙件数：780件（前年同期比－36.5%）
- ウ 刑法犯検挙人員：1,636人（前年同期比－32.3%）

【薬物犯罪関係】

- ア 薬物犯罪検挙件数：788件（前年同期比＋43.5%）
- イ 薬物犯罪検挙人員：994人（前年同期比＋47.0%）

【交通事故関係】

- ア 事故発生件数：348件（前年同期比－18.9%）
- イ 事故死亡者数：140人（前年同期比－7.9%）
- ウ 事故負傷者数：298人（前年同期比－15.3%）

- (2) 邦人被害事案

- ア 1月下旬，ハノイ市内のサービスアパートメントにおいて，パソコン等が盗まれる侵入窃盗被害が数件発生している。
- イ 2月中旬，ハノイ市内の一戸建て住宅において，開放していた窓から侵入され，現金やパソコン等が盗まれる侵入窃盗被害が発生している。
- ウ 2月下旬，ハノイ市内旧市街地を訪れていた旅行者が，所持していたバッグから，財布やパスポートなどが盗まれる窃盗被害が発生している。

- (3) 邦人以外の被害事案

- ア 1月7日，ハノイ市内において，タクシーに乗車していた韓国人が，自宅に到着後所持金がないため，一旦現金を取りに自宅に戻ったところ，タクシー内に置

いていたスマートフォンを持ち逃げされる窃盗事件が発生している。犯人は未だ捕まっておらず、捜査当局は現在捜査中である。

イ 1月27日、ハノイ市ノイバイ国際空港において、アエロフロート・ロシア航空モスクワ発SU-290便に搭乗していた多くの乗客が、預け入れ荷物から貴重品などを盗まれる窃盗事件が発生している。また、その他多くの便でも同様の窃盗被害が発生しており、捜査当局は現在捜査中である。

ウ 保健省の発表では、2月7日から14日までのテト（旧正月）期間中、ベトナム全国で病院が受け入れた救急患者数は、26万7,576人で、このうちけんかが原因で負傷し入院した患者は、5,121人に上った。また、けんかにより入院した患者のうち、13人が死亡している。けんかの原因は、主に飲酒に関わるケースが多かった。

3 テロ・爆弾事件等発生状況

テロ事件の発生については認知していないが、3月19日ハノイ市ハドン区において、廃品回収業者が廃材として買い取った錆びた廃棄物を解体していたところ、突然爆発し、ベトナム人4人が死亡、11人が重軽傷、1人が行方不明となる爆発事故が発生している。捜査当局は、廃品回収業者が不発弾と知らずにバーナーを使って廃棄物を解体し、熱で起爆したとみて捜査している。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の誘拐・脅迫事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に係わる諸問題

2月にハイフォン市に所在する日本資本の工場において、待遇の改善や賃上げなどを要求する400人規模のデモが1件発生している。デモは数日で収束している。